

新育第 1 1 5 0 号の 2
令和 4 年 1 1 月 2 9 日

各教育・保育等施設長 様

新潟市 こども未来部
保 育 課 長
(担当 保育指導グループ)

令和 4 年度（上半期）事故発生報告について

日ごろより、保育中の園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。

また、保育中の事故報告の提出についてもご協力いただきありがとうございます。

本年度上半期（4月～9月）の「災害報告書(市立)」「事故報告書(私立)」を集計し、結果を別紙のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

事故における全体の傾向について、ご確認いただき、事故再発防止の参考にしていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ先◆

こども未来部保育課

保育指導グループ

TEL 025-226-1216

(内線 31216)

別紙

【事故報告件数(R4.4月～9月)】

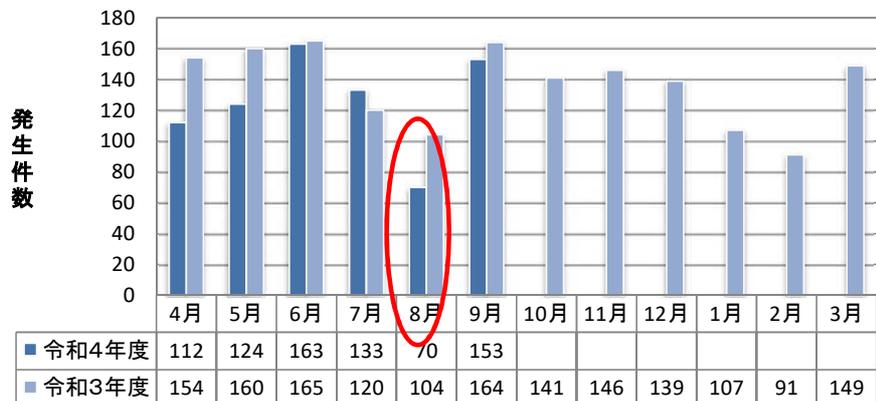
* 事故報告件数は、市立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業施設の合計

令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	前年度比							
報告件数(合計)*		112	124	163	133	70	153	755	-112	前年度との比較						
部位等	骨折	4	8	2	6	4	13	38	1	<4月～9月の事故発生件数> R4年度 754 件 R3年度 867 件 <4月～9月の 国報告対象となった重大事故> R4年度 5 件 R3年度 3 件						
	頭	7	9	11	8	3	8	47	-5							
	口・歯	35	33	50	50	22	38	228	-35							
	目・目の周り	10	10	24	13	7	26	90	-10							
	額	4	10	11	5	3	15	48	-6							
	鼻	5	2	2	1	2	3	15	-13							
	あご	4	3	4	4	4	3	22	-2							
	頬	12	8	14	5	6	5	50	-20							
	肘内障	11	16	16	15	6	11	75	-3							
その他	20	25	29	26	11	30	141	-20								
うち県・国への報告		1	2	0	0	1	1	5	1	※その他…表示部位や骨折・肘内障以外のケガ						
令和3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	
報告件数(合計)*		154	160	165	120	104	164	867	141	146	139	107	91	149	1640	
部位	骨折	2	9	6	6	5	9	37	8	5	4	0	2	10	66	
	頭	10	9	8	10	7	8	52	8	8	16	5	2	7	98	
	口・歯	61	53	38	42	33	36	263	45	58	48	45	27	51	537	
	目・目の周り	21	10	20	17	11	21	100	15	18	16	17	14	24	204	
	額	5	11	21	6	3	8	54	11	7	7	11	3	9	102	
	鼻	3	9	7	3	2	4	28	3	4	5	1	5	6	52	
	あご	4	3	5	5	3	4	24	5	3	2	4	7	1	46	
	頬	12	16	15	3	5	19	70	10	12	7	9	10	11	129	
	肘内障	11	11	15	12	11	18	78	12	11	14	9	10	7	141	
その他	25	29	30	16	24	37	161	24	20	20	6	11	23	265		
うち県・国への報告		0	1	0	0	1	2	4	1	1	0	0	1	1	8	

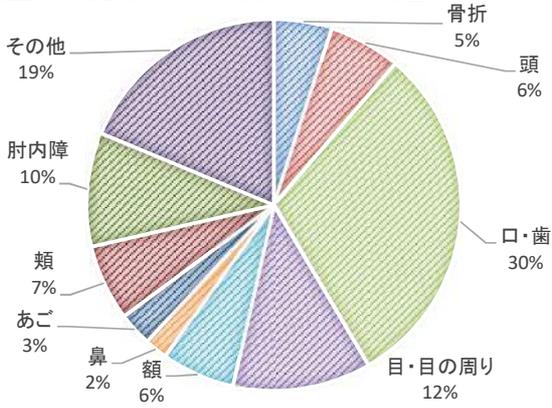
4月～9月の前年度と比較すると、事故件数が113件減少しています。事故予防の結果、事故が減少したのであれば、大変喜ばしいことですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、欠席する園児が増加したことが大きく影響していると思われます(特に8月)。

過ごしやすく活動も活発になる9月から、事故が増加してきています。

【月毎の事故報告件数】



【種類別事故件数の割合】 (R4.4月～9月)



上半期の事故を種類別でみると、口・歯に関するケガが30%で最も多く、次いで目・目の周りが12%、肘内障が10%、となっています。

その他の19%には、上・下肢や体幹の打撲や擦過傷等(骨折以外)、誤飲が含まれています。

上半期は、2件の誤飲が報告されました。



園庭のキノコ
しゃぼん玉液

【骨折事故について】

上半期の骨折事故は、前年度とほぼ同じ件数ですが、月別でみると9月に入ってから、骨折事故の報告が急増しています。比較的軽傷といえる骨折から、手術を伴うものまで、その内容は様々です。上半期、国報告対象事故が5件発生し、そのうち4件が骨折でした。

骨折の原因は、ほとんどが、転倒・転落によるものです。転んで手をついただけで骨折するケースも増えています。骨折しない体づくりについて調べてみましたので参考にしてみてください。

～骨折しない体にするためには～

「運動」「睡眠」「食事」の3点が大切です。

運動 … ウォーキングや水泳等、子どもの体力や興味に合わせた運動習慣を作り、継続して行いましょう。

睡眠 … 骨を強く成長させる役割がある成長ホルモンは、寝ている間に形成されます。十分な睡眠時間を確保しましょう。

食事 … 栄養バランスのとれた健康的な食事をとりましょう。

○カルシウム(牛乳・乳製品、小魚、干しエビ、小松菜、チンゲン菜、大豆製品など)

○ビタミンD(鮭、サンマ、カレイ、シイタケ、卵 など)

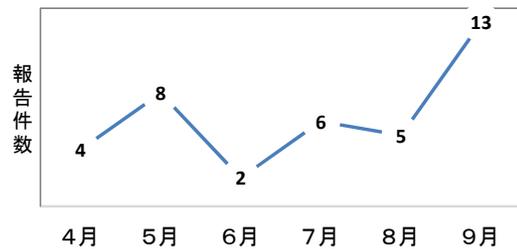
適度な紫外線はビタミンDを作ります。熱中症や日焼け対策をしながら、夏は木陰で30分程度、冬は1時間程度の日光浴をしましょう。

○ビタミンK(納豆、ホウレンソウ、小松菜、ニラ、ブロッコリー、サニーレタス、キャベツなど)

(STUDY HACKER こどもまなび☆ラボ)

～転んただけで骨折する子どもが急増中!骨が脆くなっているのは〇〇が原因だった～より引用)

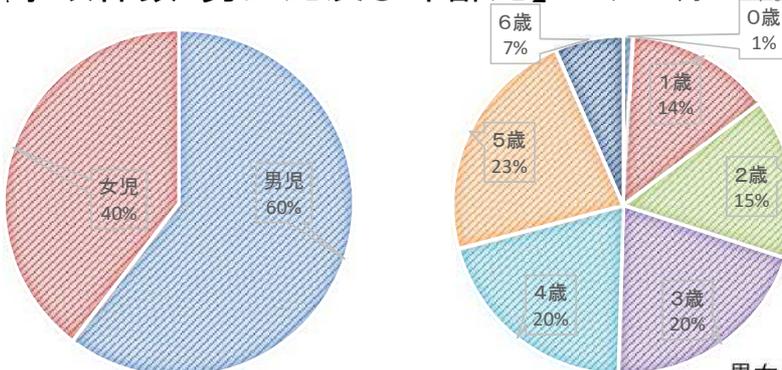
骨折事故発生報告数(月別)



疑わしい場合は早めの受診を!

事故発生時に受診せず、自宅に帰ってからや数日経過してから受診すると「骨折していた」というケースが複数件報告されました。「歩けているから大丈夫」「指・腕を動かしているから大丈夫」「ほとんど腫れていないから大丈夫」と安易に判断せず、いつもと違う様子があれば早めに受診するようにしましょう。

【事故件数/男女比及び年齢比】 (R4.4月～9月)



	男児	女児	計	年齢比
0歳	5	2	7	1%
1歳	62	42	104	14%
2歳	69	47	116	15%
3歳	97	57	154	20%
4歳	95	59	154	20%
5歳	104	67	171	23%
6歳	24	25	49	7%
計	456	299	755	

男女比は6:4で、例年の傾向通りです。

年齢比では、3歳以上の幼児のケガが全体の70%でした。